

Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局
東 部 教 育 局
〒680-0061鳥取市立川町六丁目176番地
東教発 R 7. 4. 7 No.182
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

新年度にあたり

局長 蓮佛 俊敬

新しい年度のスタートを迎えようとしていた矢先、鳥取市で小学生が交通事故に遭うという知らせが届きました。ご本人、ご家族、そして学校関係者の皆様の心中を想像し、胸が締め付けられる思いです。新しい年度の開始にあたり、改めて、子どもたちの命を何よりも大切を守ることを最優先にし、すべての子どもたちの笑顔が守られ、未来への道筋が一步ずつでも確かなものとなるよう、教職員の皆様の力添えをお願いいたします。

さて、今、学校現場は、変化し続ける社会、多様化する価値観等の中で、様々な課題に向き合っています。なかなか最善が見えにくく、解決の糸口が簡単には見つからないことも多くあります。加えて、深刻な人材不足の影響で、思い描いた教育の実現が難しくなった学校もあることでしょう。経験が浅い教員が増える中で、指導に多くの時間と力を注ぐ学校も少なくないはずですが。

そんな中、令和7年度、東部地区の小・中・義務教育学校の中には、課題解決に向けて、またよりよい教育を目指して、果敢に挑戦をする学校があります。高学年の教科担任制や専科指導、チーム担任制、自由進度学習、学力向上、地域と連携した取組など、様々な工夫を凝らしながら教育を前に進めようとしている学校です。

東部教育局は、そうした挑戦と子どもの成長を支える教職員、夢を実現したいと願う子どもたちと意思を一つにしながら、各園・学校や市町教育委員会を精一杯支援させていただきます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

東部地区のすべての子どもにとって、学校が「自分の居場所」であり「いのち輝く場所」であってほしいと願います。



鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課配布リーフレット

「子どもたちの『わかる』『できる』をささえる

ユニバーサルデザインの視点を生かした指導・支援」

リーフレット
QRコード



「わかる」「できる」をささえる基本のチェックポイント13」

3つの視点と13のチェックポイント

視点1: 接し方

「担任が、一番身近なモデルになりましょう。」等

視点2: 指導・支援

「予定を提示するなど見通しをもたせ、自主性を高めましょう。」等

視点3: 教室環境

「片付けの場所や道具の置き場所を分かりやすく示しましょう。」等

○13のチェックポイントは、子どもたちに関わる全ての教職員が意識したい項目です。



「特別支援教育の手引 8 実践ポイント集」
(令和4年3月改定 鳥取県教育委員会)



大切にしたい実態把握の視点

「大切にしたい実態把握の視点」について、研修動画(9分)で説明しています。視聴をお願いします。



※その他の研修動画も「まなびの広場(鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課)」にアップしています。通常の学級担任の指導・支援のヒントもたくさんあります。ぜひご覧ください。

児童生徒一人一人の学びの充実のために、基盤となるのは、児童生徒理解と信頼関係です。児童生徒の「困っていること」に思いを巡らせることが、充実した指導・支援のはじめの一步となります。年度初めに、全教職員でリーフレット等をご覧いただき、教室環境づくり、学級づくりのヒントにしてください。

「B-PLAN」を活用した全教員による授業改善

活用問題集「B-PLAN」は、全国学力・学習状況調査に出題された問題を基に授業改善に活用することを目的として県教育委員会が作成した問題集です。令和7年度は、2か月ごとにC4thで東部地区の全小・中・義務教育学校に配信しますので、各学校において活用し、授業力の向上及び子どもたちの学力向上につなげてください。



活用問題集「B-PLAN」のラインナップ

- ・小学校国語5年生
- ・小学校算数4年生・5年生
- ・中学校数学1年生・2年生



B-PLANを活用した取組の流れ

【新しい単元に入る前に】

①単元の目標と活用問題を確認する

- ・先生が個人で活用問題を解いてみる。

②単元で子どもにつけたい力を決める

- ・単元で児童生徒にどのような力を身に付けさせたいかを考えることで、ねらいがぶれない授業づくりができる。（指導のポイントを焦点化）

③授業や単元の構想について計画する

- ・目標や身に付けさせたい力が決まったら、単元全体を構想し、一つ一つの授業について考える。（単元のまとまりで教材研究をすることが重要。）

- ★この問題を解くために必要な力は？
- ★この問題のどこにつまずきそうか？
- ★1年生から3年生までにつけておくべき力は？

【単元の学習が終わったら】

④活用問題を実施する

- ・単元の学習終了後、児童に取り組ませる。

⑤解答類型をもとに採点・分析する

- ・児童生徒の解答用紙を採点・分析し、つまずきポイントを確認する。採点は○×ではなく、解説ページにある解答類型に分類する。

⑥解答用紙を返却し、解説や補充学習等を行う

- ・活用問題実施後、なるべく早く返却する。

⑦成果と課題を確認し、授業改善のポイントを考える

- ・児童生徒の解答結果から、どのような取組が成果につながったのか、あるいは、なぜ成果につながらなかったのかを分析し、次の単元づくりや授業づくりに役立てる。

- ★このような解答をした要因は何？
- ★何も書けなかったのはなぜ？
- ★指導方法や授業展開で工夫できそうなことは？



こんな効果がありました！

令和6年度B-PLAN活用校の感想

- ・全教員が共通理解し、継続して実施したことで、子どもは粘り強く取り組み、無解答が減り、上位層の児童の伸びが見られた。何より、授業改善に大きく繋がったと考えられる。今後も全教員で授業改善についての意見を出し合い、よりよい実践を行っていききたい。
- ・条件に合わせて問題を解く力がついてきた。
- ・複数の資料を用いて問題を解いたり、長文を読んだりすることに抵抗がなくなってきた。

「全国学力・学習状況調査」の問題を生かした授業づくりをすることは、教師の指導力向上につながり、児童生徒に求められている資質・能力を身に付けさせるのに有効です。活用問題集「B-PLAN」を授業改善のPDCAサイクルに位置付けて授業研究を行い、児童に付けるべき学力について全教員の理解と認識を深め、子どもの学力向上につなげていきたいと思います。

「見え～る」を使って非認知能力等の変化を把握

毎年、「とっとり学力・学習状況調査」では、非認知能力（自己効力感、勤勉性、自制心、向社会性、やりぬく力）や学習方略（作業方略、柔軟方略、認知方略、努力方略、プランニング方略）等を調査し、個人の伸びやクラスの変容を捉えてきました。

この度、いつでも何度でも調査できる非認知能力等調査アプリ「見え～る」を小中学校課が作成しましたので紹介します。



★「非認知能力」「学習方略」「主体的・対話的で深い学びの実施」について、学校が調査したい項目を選択し、いつでも、何度でも無料で調査。

★一人一人の非認知能力等の年間の変化や伸びをグラフ化。

★校内研究の成果指標に活用。

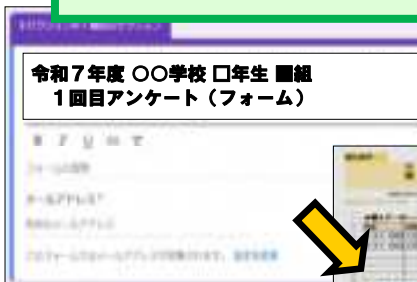
★年度末の3月に調査することで分析精度がアップ。



★アプリは、こちらの QRコードからダウンロード。(Gアカウントが必要)
<URL><https://sites.google.com/g.torikyo.ed.jp/mieru/>

アンケートに回答

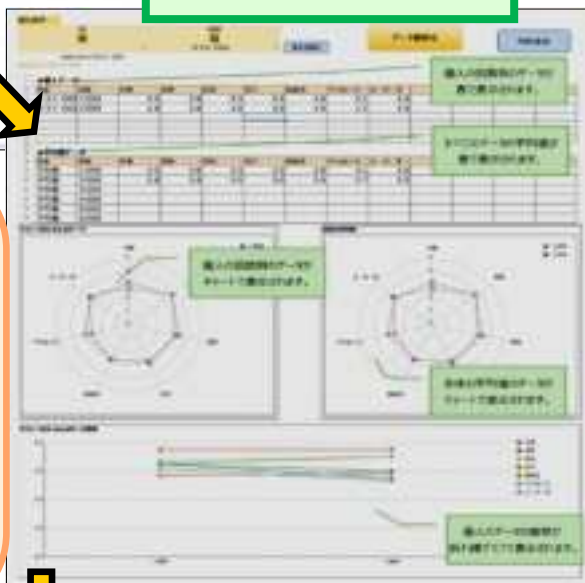
子どもたちはフォームのアンケートに答える。
ルビも振ってあり、小学1年生でも安心して回答できる。



個人データの確認

教師は子ども一人一人のデータを、表の数値とグラフで確認できる。

アンケートの回数を重ねるごとに、個人の回数別のデータがチャートで可視化され、個人の伸びや課題を確認できる。



御希望があれば、東部教育局指導主事等が、本アプリの使用方法や設定手順等について学校を訪問し、説明します。
詳しくはTobu通信号外で案内しますので確認してください。

クラスデータの確認

クラス全体の年間の変化や伸びは、シートの末尾に表示される各調査項目のクラス平均値の推移で確認できる。



「とっとり学力・学習状況調査」は年間に1回のみの調査でしたので、調査の返却まで結果が分からず、タイムラグが生じていました。また、非認知能力について測りたいものに制限がかかっていました。「見え～る」を使って調査することで、1年間でどのように変化していくのか、見るができます。各学校での効果的な活用をお願いします。

東部教育局主催ワークショップ・研修会のご案内

東部教育局では、各種事業、要請訪問での指導助言等を通じて、各園・学校にかかわらせていただいています。その他にも、次のような機会を設定して、東部地区の学校教育の充実に努めているところです。今年度の主な予定は次のとおりです。多くの御参加をお待ちしております。

<各種ワークショップ>

特別支援教育（2回/年）

時期：令和7年4月22日（火）、令和8年1月（予定）
対象：特別支援学級の担任、特別支援教育主任等
内容：特別支援教育主任の業務内容について見通しを持ったり、特別支援教育についての情報共有や演習を行ったりする。

社会教育（2回/年）

時期：令和7年11月と令和8年1月（予定）
対象：教職員、公民館職員、地域の方等
内容：ふるさとキャリア教育やコミュニティ・スクールについて、情報提供や協議・演習を行う。

授業づくり（2回/年）

- ◆エキスパート教員に学ぶ
時期：令和7年12月26日（金）（予定）
対象：小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員
- ◆研究主任等研修会
時期：令和7年7月または8月（予定）
対象：研究主任及び希望する教職員
内容：学力向上に係る内容、校内研究について（予定）

この他にも、
随時、御案内
していきます。



幼保小連携・接続（1回/年）

時期：秋または冬（予定）
対象：小学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員
内容：・「遊びを通して学ぶ」幼児教育の特性について理解することで、小学校での指導の在り方について考える。
・架け橋期のカリキュラムについて。（予定）

<研修会>

東部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会（3回）

時期：令和7年7月15日（火）、9月5日（金）、10月6日（月）
対象：園、小学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員等

一転出者の紹介—

次 長 藤岡 仁
(鳥取市立鹿野学園へ)

学事担当係長 岡村 吉隆
(鳥取市立湖山西小学校へ)

学校教育担当指導主事 星見 志暢
(鳥取市立美保南小学校へ)

一転入者の紹介—

次 長 有岡 博己
(鳥取県教育委員会事務局
教育人材開発課から)

学事担当管理主事 國富 史郎
(鳥取市立湖東中学校から)

学校教育担当指導主事 宮脇 真実
(鳥取市立美保小学校から)

学校教育担当特別支援教育専門員 吉田 幸恵
(鳥取市立明德小学校から)



東部教育局内の担当分掌を紹介します

局長 蓮佛 俊敬 次長 有岡 博己

学校教育担当 TEL 20-3669～3675

学事担当 TEL 20-3666・3667

担 当	主 な 分 掌
係長 本庄	○中学校人事管理
係長 宮前	○教職員の給与・旅費 ○共同学校事務室の運営・支援
管理主事 國富	○小学校人事管理
会計年度任用職員 坂本	○局内庶務

社会教育担当 TEL 20-3676

担 当	主 な 分 掌
次長 有岡	○社会教育の総括
社会教育主事兼指導主事 山根	○社会教育 ○人権教育 ○家庭地域の連携 ○ふるさとキャリア教育

担 当	主 な 分 掌
係長 皆川	○学校教育指導の総括 ○市町教委・関係課との連携 ○研修派遣
指導主事 坂本	○学力向上 ○図書館教育 ○国際理解教育
指導主事 渡繪	○小学校教育課程 ○エキスパート教員 ○教科用図書 ○外国語教育
指導主事 西小路	○特別支援教育 ○福祉教育 ○環境教育 ○安全教育
指導主事 漆原	○中学校教育課程 ○生徒指導 ○進路指導 ○教育相談 ○学校体育
指導主事 中林	○情報教育 ○ICTを活用した教育活動 ○道徳教育
指導主事 宮脇	○幼児教育 ○幼稚園教育課程 ○健康教育 ○研修に関すること
教育相談員 原田	○教育相談
保育・幼児教育専門員 矢部	○園の訪問指導 ○研修支援
特別支援教育専門員 吉田	○特別支援教育に係る訪問・支援